



INTERVIEW

# 福島で、実現する。

あなたが実現したいことは、なんですか？

先輩職員インタビュー

「栽培や経営の課題に向き合い、

地元農業の振興を支える」

**所属** 県北農林事務所 安達農業普及所 経営支援課

● これまでの経歴（所属年度）

H28～H30 農業総合センター 会津地域研究所

H31～ 県北農林事務所 安達農業普及所

経営支援課



農業

**Q.** 現在の仕事内容とそのやりがいについて教えてください。

A. 私は野菜特産担当の普及指導員として、管内の野菜農家の巡回指導、JA等より依頼される栽培指導会の講師対応のほか、新規栽培者向けの研修会の開催、農薬適正使用の啓発、農業災害対応、野菜の放射線モニタリング検査の対応を行っています。

農家の方やJA等の生産団体、市や村など様々な方と関わりを持ち、農家個々の支援に直接貢献するだけでなく、広域的な産地全体の協議にも参加できるなど、小さな視点と大きな視点の両面から地域の生産活動をマネジメントできることにやりがいを感じます。

**Q.** 福島県職員として、実現したいこと、目標としていることは何ですか。

A. 私は農家の出身ではなく、県職員になってからはじめて直接農業に関わるようになったことから、生産現場の過酷さや農業経営の厳しさに大変衝撃を受けました。

将来の担い手確保のためにも、既存農家の経営改善や、新規就農者の適切な経営計画の立案を促し、労働に見合う報酬を得られる、雇用力の高い農業経営を実現できるように、あらゆる面から支援していきたいと思っています。





- Q. 仕事の中でうれしかったエピソードはありますか。
- A. 新規栽培者の生産量が計画を達成できず、その対策として定植時期の変更を提案し、実践していただいたところ、翌年には計画を達成することができました。普及指導員になった当初はほとんど栽培に関する知識が身につけていなかったため不安でしたが、はじめて農家の方の役に立てたと感じられました。
- Q. あなたをキーワードで伝えるとしたら、どんな言葉が思い浮かびますか。
- A. 「好奇心」「集中力」「客観性」「忍耐」「協調性」
- Q. 「好奇心」について教えてください。
- A. もともと生き物に興味があり、畑で見ついたり農家の方から持ち込まれたりした病害虫を調べることが楽しいです。事務所には顕微鏡や検査キットがあるため、簡易な診断であれば自分でも可能であり、生理生態から対策を調べ、農家の方に返答しています。
- Q. 「客観性」について教えてください。
- A. 農家の方から、作物の生育不良など、現場で起きている問題について、技術相談を受ける中で、農家の方の考えと普段の栽培管理、地域の全体的な状況、気象等から総合的に原因を判断し、実践可能で効果的な対策を提案できるように心がけています。
- Q. 受験者に向けたメッセージをお願いします。
- A. 仕事の内容が多岐にわたるので、多くの人と関わることができ、工夫次第で様々なことができる職種だと思います。皆さんと働ける日を心待ちにしています。



★ この職員のインタビューは、動画とパンフレットにも掲載しています。ぜひご覧ください！